

街づくり協議会の経緯とスケジュール (案)

第4回協議会からは、街づくり構想案の作成・提出に向け、より具体的な検討を進めていきます。また、先進事例の見学会等を実施する予定です。

年度	内容	日程	参加者	概要
H18年度	地元からの東急目黒線西小山駅周辺一帯のまちづくりに関する要望書提出	(平成19年1月)		①西小山駅(目黒区側)の駅前広場整備 ②西小山駅前(目黒区側)周辺一帯の商業地域への見直し ③立会川緑道の道路形態の見直し ④都市計画道路補助46号線(補助30号線～環七まで)の第四次優先路線化 ⑤西小山周辺街づくりにおける地元の積極的協力
H19年度	街づくり勉強会	第1回10/4(木) 第2回12/4(火) 第3回3/10(月)	地元参加者6名 " 6名 " 12名	西小山の将来像を考える
H20年度	街づくり懇談会	10/10(金)・12(日)	" 7名・6名	西小山の可能性・将来像を探る(街づくり委員の募集)
	(仮称)街づくり協議会準備会	2月27日(金)	街づくり委員 25名参加	○これまでの背景と経緯 ○協議会の先駆事例 ○協議会の役割と進め方について・会則・スケジュール
	街づくり協議会	第1回 5/29(金) 第2回 7/23(木) 第3回 8/27(木)	街づくり委員 33名参加 32名 " 33名 "	■街づくり協議会の設立 ■西小山駅周辺の現況 ○街の現況を賑わい・防災・潤いの視点から客観的に理解し、課題を把握
H21年度	街づくり協議会	第4回～		■街づくりの目標・方針等の検討 ○西小山周辺一帯の街づくりの目標と方針等の検討 ■地元地域の将来像の具体的な検討 ○検討内容(例)・都市基盤の整備(道路等のあり方)・用途地域等の見直し・地区計画の導入など ■構想案(素案)の作成 ○街づくり構想(素案)を作成
	街づくり構想案(素案)説明会			街づくり構想案(素案)の周知、住民との意見交換、地元アサート
	街づくり構想案の作成・提出			目黒区へ提出 (勉強会・検討会)

街づくり委員募集中!

西小山街づくり協議会では、街づくり委員として協議会にご参加いただける方を募集しています。検討区域内にお住まいの方、事業を営まれている方、土地・建物を所有している方で、かつ街づくりに興味のある方は、事務局までご連絡ください!

街づくり委員からご挨拶

○品川区側では駅前広場も完成し景観も大きく変わってきていますが、目黒区側ではまだ変化がみられません。この協議会で防災に強い西小山の街づくりが実現できるよう、みなさんと力を合わせて頑張っていきたいと思います。(松田委員)

○街が変わろうとしている中で、住まわれている方々、商売されている方々が一緒になってビジョンをつくり、西小山の街のあり方を考えていくことが大事だと思っています。みなさんと一緒になって頑張っていきたいと思います。(矢野委員)

○目黒区側と品川区側と一緒に、他には無い特徴のある商店街の賑わいをつくっていきたくと考えています。みなさんががんばっていきましょう(杉山委員)

街づくり協議会に関することや街づくりに関する疑問、ご意見等ありましたら、事務局までご連絡下さい。

(西小山街づくり協議会 事務局)

目黒区都市整備部都市整備課 斎藤・渡邊
電話 : 03-5722-9672 (直通)
Fax : 03-5722-9239
E-Mail : tosei02@city.meguro.tokyo.jp



西小山周辺一帯の街づくり

西小山街づくりにニュース

第1号
平成21年
9月発行

～災害に強く、賑わいや潤いのある街を目指して～

「西小山街づくりニュース」は、「西小山街づくり協議会」のこれまでの活動等を地区のみなさま方に広くお知らせするため、西小山街づくり検討区域内に配布しています。

Topics ▶ 西小山街づくり協議会が設立しました!
▶ 準備会～第3回協議会を開催、活動中!

西小山街づくり協議会設立の経緯と、周辺の主な街づくりの動き

西小山駅周辺では、従来から木造住宅密集地域整備事業が進められていますが、品川区側での駅前広場の完成など状況が激変し、西小山の街はこのままでよいのだろうかという機運が高まっていました。そのような状況の下、住民主体の街づくり組織として西小山街づくり協議会が設立され、活動を行っています。

災害に強く賑わいと潤いのある、住民が望む街を目指して、みなさまの手で街づくりを進めていきましょう!

▶ 西小山駅周辺の主な街づくりの動き



西小山街づくり協議会が設立し、活動しています！

- 準備会 平成21年2月27日(金) 19:30~21:00 街づくり委員 25名 参加
- 第1回 平成21年5月29日(金) 19:30~21:00 街づくり委員 33名 //
- 第2回 平成21年7月23日(木) 19:30~21:00 街づくり委員 32名 //
- 第3回 平成21年8月27日(木) 19:00~20:00 街づくり委員 33名 //

協議会の設立が承認されました。

第1回協議会において、協議会の会則と設立が、街づくり委員のみなさまの拍手により承認されました。

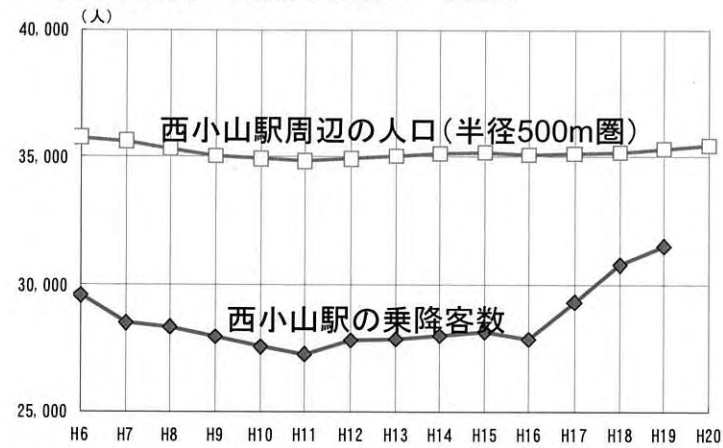
現在の街の状況を考えました。

第1回~第3回協議会では、現在の街の状況について、**賑わい、防災、潤い**という3つの視点から考えました。その概要についてご報告します。



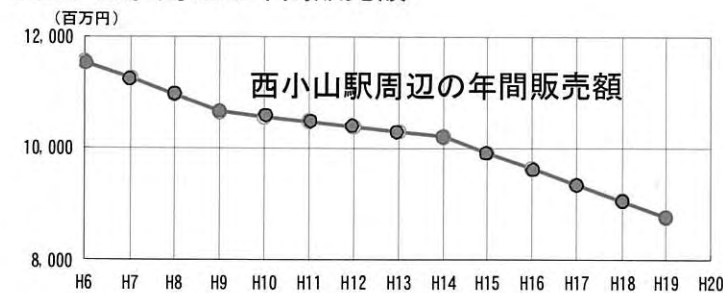
賑わい 首都圏などの都心部は、鉄道網が発達しており、通勤・通学や買い物など人の動きや生活行動の中心に“駅”があります。協議会ではその“駅”を中心とした西小山の街に着目して賑わいについて考えました。

○西小山駅乗降客数と周辺人口の推移



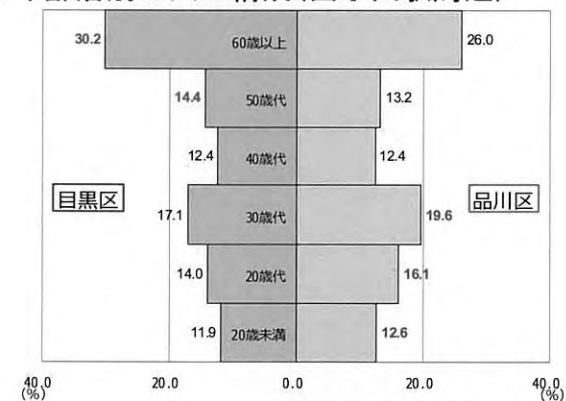
出典：住民基本台帳(周辺人口)、東京都統計年鑑(駅乗降客数)

○西小山駅周辺の年間販売額



出典：東京の商業集積地・東京の小売業

○年齢層別の人口構成(西小山駅周辺)



出典：平成17年国勢調査

○住まい方の世帯構成(西小山駅周辺)

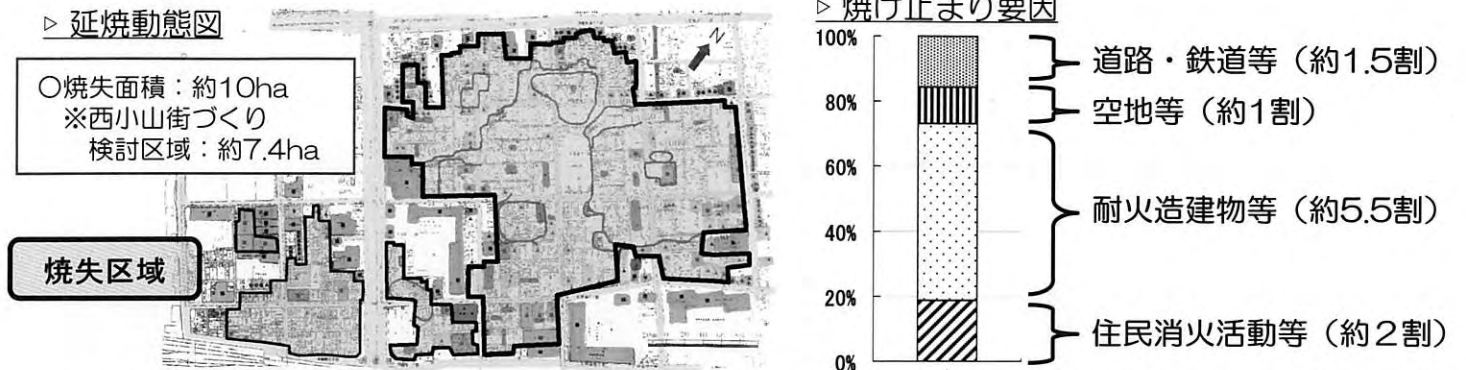


出典：平成17年国勢調査

西小山駅周辺においても、目黒区側と品川区側で違いがあることがわかりました。目黒区側は、戸建住宅が多く、居住者は高齢者が多いことがわかりました。品川区側は、共同住宅が多く、居住者は若年層が多いことがわかりました。生活に必要な施設の立地状況はどちらも同様でした。

防災 逃げないで住める街(逃げ込める街)へ！

西小山街づくりの検討区域を含む原町一丁目は、地震に関する地域危険度測定調査(第6回)(平成20年 東京都)において、最も危険な総合危険度5と判定され、目黒区内では最も危険度の改善が望まれる地域となっています。平成7年の阪神淡路大震災の事例から、**街の防災基盤の形成**には、**道路・鉄道、空地、耐火造建物等**が効果的であることがわかりました。



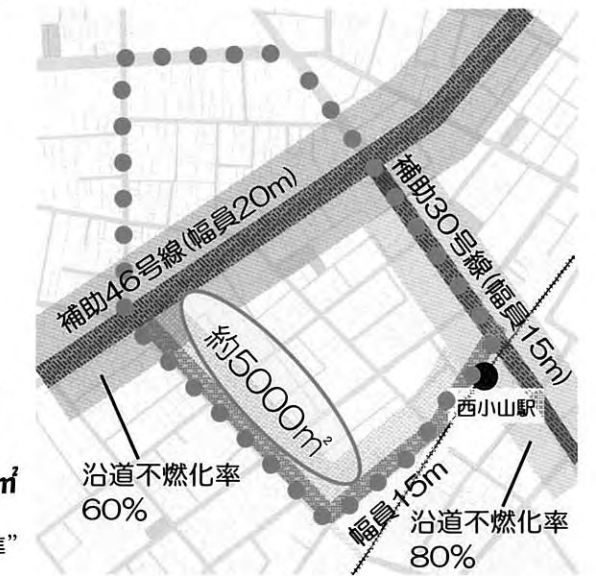
図：兵庫県神戸市水笠西公園周辺火災の延焼動態図と焼け止まり要因(出典：平成7年兵庫県南部地震被害調査最終報告書)

これからの西小山街づくりは、これまでの個別改善など自主的な改善に頼ったものから、自分たちの手で**周辺の街全体の防災性向上に寄与する街づくり**を進めていくことが重要であるとわかりました。

◆現在の西小山の街をもとに、逃げないで住める(逃げ込める)街を想定しました。

- 地区面積：7.4ha
- 人口 1750人(推計) ⇒ **3000人(仮)**
- 都市計画道路 ⇒ **整備**
補助46号線：幅員7m ⇒ **20m**
沿道不燃化率48% ⇒ **60%**(※)
補助30号線：幅員15m(整備中)
沿道不燃化率72% ⇒ **80%**(※)
- 生活道路(未整備) ⇒ **整備**
⇒ **地区外周に道路を確保：幅員15m**
⇒ **地区内道路の整備：幅員8~12m(沿道不燃化：80%)(※)**
- 広場、空地
西小山公園590㎡ ⇒ **3000人分の一次避難場所：約5000㎡**

(※)沿道不燃化率は東京都防災都市づくり推進計画“延焼遮断帯判定基準”、避難場所指定基準は目黒区地域防災計画を基準にしています。



図：逃げないで住める(逃げ込める)街(想定図)

潤い これまでの西小山における街づくり活動においてみなさまから頂いた意見を集約し、さらにこれからの街づくりで大切なこととして次のキーワードが挙げられました。

生活の潤い

- ・長く定住するファミリー層が居住して欲しい
- ・バリアフリー
- ・コミュニティがしっかりしている
- ・子育てしやすい街へ
- ・行政サービスの充実

緑の潤い

- ・目黒区側に駅前として人が集まれる場所
- ・気持ちよく散歩ができる散歩道
- ・子供が安心して遊べる場所
- ・公共の空間作り

文化の潤い

- ・文化とコミュニティの構築も不可欠
- ・図書館や集会所など規模が大きく、人が集まれる公共施設
- ・西小山を通るバス路線と駐車場
- ・様々な機能がある街
- ・目黒区側にも駅前広場を

地球にやさしい街づくり